

特記仕様書

1 目的

この特記仕様書は、「令和6年度 埋金浄水場着水井堰式流量計更新工事」に適用するものとする。また、特記仕様書に定めていない事項は、春日那珂川水道企業団工事共通仕様書に準ずるものとし、さらに公共工事請負契約約款、及び日本水道協会標準仕様書を適用するとともに、監督職員と協議の上、決定するものとする。

2 工事概要

- (1) 工事名称 令和6年度 埋金浄水場着水井堰式流量計更新工事
- (2) 工事場所 那珂川市大字埋金 815-1 埋金浄水場
- (3) 工期 契約締結日から令和 7 年3月 19 日まで
- (4) 既設機器 超音波レベル計 ULM-51 型 1台
製造会社 超音波工業株式会社
設置場所 着水井(詳細は図面参照)
- (5) 工事内容 堰式流量計の更新
(超音波レベル計から電波レベル計への更新及び変換器盤改造)
- (6) 機器構成(参考機器:LRG-10)
 - ① 電波レベル計 1 式
・電波レベル計トランスミッタ 非防爆仕様 表示器付き 測定範囲:4~20mA
・2Bコーンアンテナ オリング:フッ素ゴム 測定範囲:7m
・アダプタリング
・ディストリビュータ 入力信号:4-20mA(抵抗約 5Ω)
 - ② 電源装置 DC24V 1 台
 - ③ 信号用避雷器(SPD) 1 台
 - ④ 流量計(電波レベル計)取付金物 1式
 - ⑤ ケーブル(着水井流量計から変換器盤まで) EM-CEES1.25sq 75m

3 特記事項

(1) 一般共通事項

① 機器寸法及び配置

本仕様書及び設計図書に記載されている寸法及び機器の配置は参考とし、承認図及び施工図により決定するものとする。

② 提出図書等

工事共通仕様書に準ずるものとする。また、発注者が必要と認めるもの。

③ 機器の仕様

本工事に使用する機器はJIS、JEC、JEMの各規格に準拠する。

④ 工事の注意事項

本工事に使用する計装機器は、設計図面を参考とし、仕様については特記仕様書によるものとする。また、特記なきものはJIS・JEC・JEMに準拠する。

- 1) 発信器、受信器、変換器間に於いては、DC4～20mA(又はDC1～5V 光デジタル信号)とし、請負者の選定した計器メーカーの都合により、設計図及び設計書の配線の種類及び芯数の増減が生じて、請負金額の増減は行わないものとする。
- 2) 発信器、受信器、変換器間の必要な箇所に、使用する計測器と同一メーカー若しくはそのメーカーの推奨する避雷装置を内蔵又は外付けし、メーカーの指定する方法で接地工事を行うものとする。
- 3) 発信器、受信器間の信号線は、誘導障害を生じないように、必要に応じシールド線を使用し他の配線とのセパレータを行う。
- 4) 電気配管については既設配管を利用する。
- 5) 測定範囲は、発注者と協議を行い決定する。
- 6) 設置後、現地試験を実施する。

4 関係法規の適用基準

- 1) 労働安全衛生法（労働安全衛生規則）
- 2) 電気事業法
- 3) 電気設備技術基準
- 4) 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編・電気設備工事編)
- 5) 日本産業規格（JIS）
- 6) 日本水道協会規格（JWWA）
- 7) 日本電気学会 電気規格調査会標準規格（JEC）
- 8) 日本電機工業会規格（JEM）
- 9) 内線規程
- 10) その他関連法規（国内法規）

5 保証期間

保証期間は引渡し後1年以内とし、その期間内に請負者の責任とみなされる原因によって事故(破損及び品質・性能低下等)が生じた場合、無償にて修理又は交換を行い完全に補修しなければならない。但し、天災その他通常乙のみの責と考えられない場合は、別途協議するものとする。

6 機器及び材料

本工事に使用する機器及び材料は、上記 2工事概要(6)機器構成(参考機器 LRG-10)

の参考機器同等品以上とし、同一品種の材料に対しては一社製品を使用するものとする。なお、参考機器とは別の機器の場合、発注者と協議して決定する。また、工事施工前にメーカーリスト等を発注者に提出して、承認を受けるものとする。